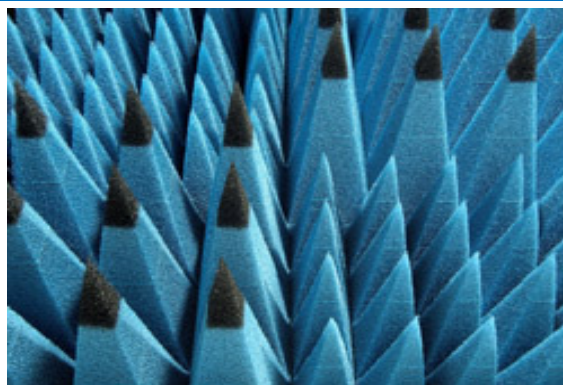


E & C SPY-NRL

広帯域、ピラミッド状、
オープンセル発泡電波吸収体



■ 概要

E & C SPY は高性能ピラミッド状電波吸収体で、軽量のオープンセル構造の発泡材で作られ、中程度の電力密度用に設計されています。

形状と電気的特性は、E & C VHP のそれらと同等です。

■ 主な用途

E & C SPY は、中程度の電力密度の用途に向きます。

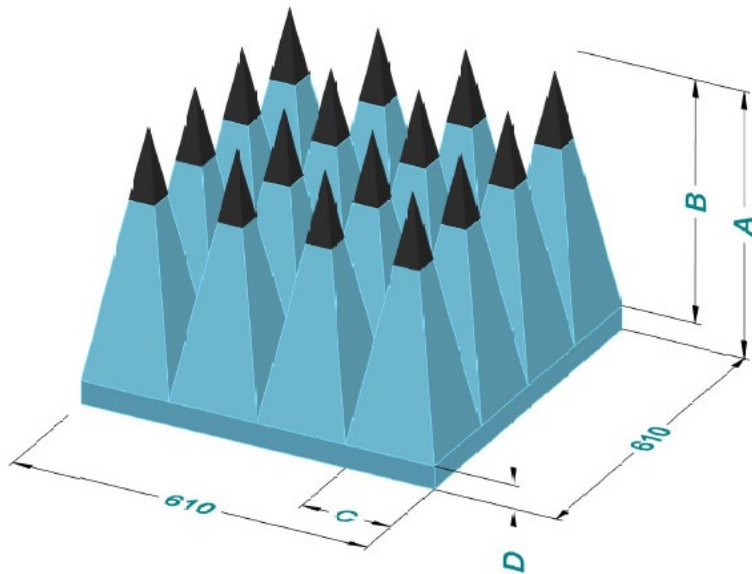
E & C VHP に比べて、より多くのオープンセル構造になっており、セル間の空気循環がよく、8 kW/m²までの中程度電力密度に曝されても適度な平均温度を維持します。

より高い電力密度の用途には、ハニカム構造の E & C HFX-HC ピラミッド状吸収体をお薦めします。

■ 主な物理特性

標準色	ブルー
底面寸法	61 cm x 61 cm
最高使用温度	90°C
耐電力	8 kW/m ²
難燃性	NRL8093 Tests 1,2 と 3

■ 定格寸法と重量

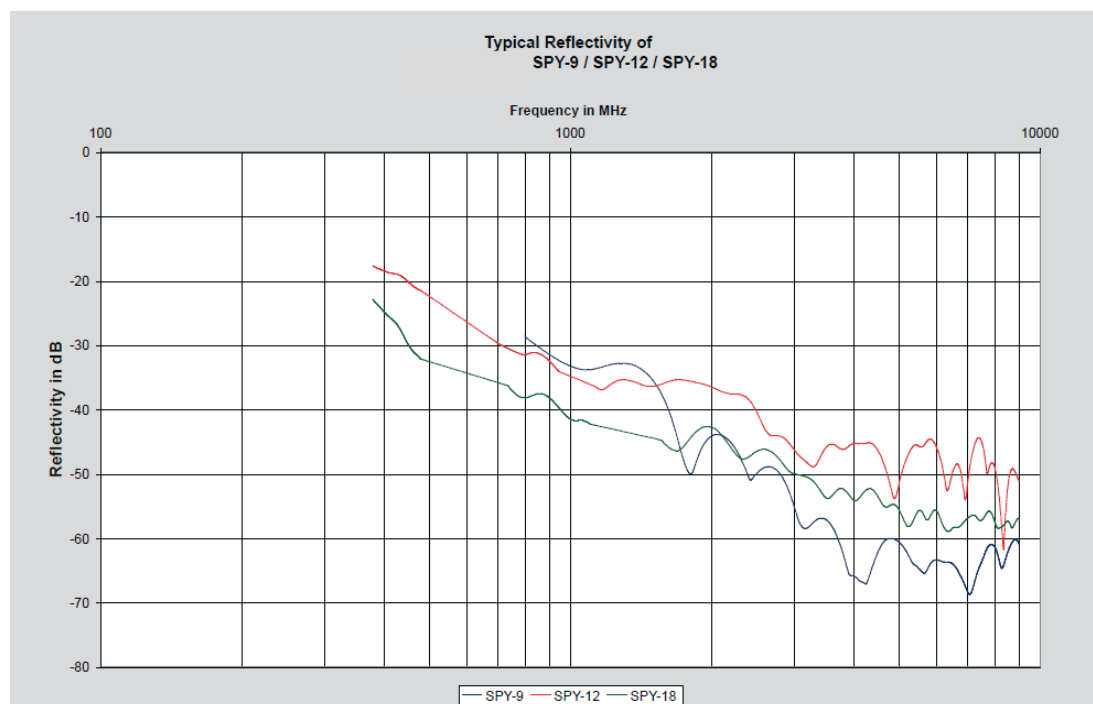


	全高 A (cm)	ピラミッド高 B (cm)	ピラミッド幅 C (cm)	基部高さ D (cm)	一個当たりの ピラミッド数	重量 (kg)
SPY-9	23.0	20.5	6.8	2.5	9	2.2
SPY-12	30.5	24.5	10.2	6.0	6	2.7
SPY-18	45.7	38.2	15.2	7.5	4	3.5

■ 電気的特性

SPY のマイクロウェーブ吸収特性は、VHP の特性に同等です。下の表は、それぞれのタイプにつき特定の反射係数が期待できる周波数(GHz)を示します。

	-20 dB	-30 dB	-40 dB	-50 dB
SPY-9	1.0	1.5	3.0	9.0
SPY-12	0.5	1.0	3.0	9.0
SPY-18	0.4	0.5	1.0	9.0



■ 寸法・種類

SPYの厚さ、形状と電気的特性(反射係数)は、対応するVHPのそれぞれのタイプのそれらに適合します。

標準タイプは、SPY-9, SPY-12 および SPY-18 の3種類です。

■ 使い方

E&C 接着剤 13111 のようなコンタクト接着剤を使って構造物へ取り付けすることができます。この場合、吸収体底面に接着剤を数回塗った後、乾燥させることで、底面を硬くできます。接着を補強するために機械的な取り付けを併用することをお勧めします。プラスチックのピンやフックへ突き刺す方法は、吸収体内部の空気循環を促進するのに特に効果があります。

E&C Anechoic Chambers N.V.
日本総代理店

G&Gプランニング株式会社 電波事業部

TEL 03-5461-8791 FAX 03-5461-8415

HP: <http://www.ggp.jp> E-mail: denpa@ggp.co.jp

◎本資料に記載されている性能値などは保証値ではありませんのでご了承ください。

◎本資料の記載内容を予告なく変更する、又は製品の製造を中止することありますので、その旨ご了承ください。